

大分東週報



国際ロータリー第2720地区
大分東ロータリークラブ



R.I.テーマ
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
大分東RCスローガン
「温故知新 新しい時代のロータリーを考えよう」



テニスの全英オープンが開催されるウィンブルドンセンターコート

2021-2022 第27回 例会 2022.5.19 No.2742

ガバナー 大森 克磨
会長 瀬口 清文
幹事 前田 修二

本日のプログラム (5月19日)

◎12:30

1. 開会並びに点鐘
2. ロータリーソング斉唱「我等の生業」
会食
3. ゲスト・ビジターの紹介 瀬口 清文 会長
4. 会長の時間 瀬口 清文 会長
5. 幹事報告 前田 修二 幹事
6. 出席報告 野田 直宏 出席委員長
7. 委員会報告
8. ニコボックス
9. 今週のお祝い

<創立記念日>

挟間 直己会員 はさまクリニック 5月20日
由見真治朗会員 (株)大総 5月21日

<結婚記念日>

三島 麻衣会員 5月19日

<パートナー誕生日>

安藤 暢啓会員 恵美子夫人 5月25日

<会員誕生日>

野田 直宏会員 5月22日
大西 章泰会員 5月27日

◎13:00

10. 例会企画

ゲスト卓話 石川 正史 様 (株)cotta 執行役員
「スピード!スピード!スピード!
変化し続けるものが生き残る!」

第26回 (5月12日) 例会記録

クラブ協議会 「今年度を振り返って」

・出席報告

| 会員 総数 37名 (免除 会員 9名) | 5月12日 (先週) | | | | 4月14日 出席率 (修正) |
|-------------------------------------|------------|--------|-----|------|----------------------|
| | 出席会員数 | 出席率 | ゲスト | ビジター | |
| | 25名 | 80.65% | 0名 | 1名 | 96.7% |

次週の例会 (第28回6月2日)

ゲスト卓話 藤島 美奈子 様
(MK・ヴォレ・プランニング(株)代表)

会長の時間 (令和4年5月12日)

本日は、連休明け5月最初の例会です。皆様、どんなゴールデンウィークを過ごされましたでしょうか。

3年ぶりに行動制限がなく、好天に恵まれたこともあって、久しぶりに旅行に行かれた方もいるかと思いますが。大分の観光施設も、昨年の2倍、3倍の人出で賑わったようです。しかし連休が明けて、また新型コロナウイルスの感染者増加が懸念されています。やはり基本的な感染予防対策はまだ必要ようです。

ところで、本日のテーマは「お金で幸せは買えるか」です。ブリティッシュコロンビア大学のダン博士らが行った有名な実験があります。その実験の背景には次のようなアンケートがあります。アメリカ人633人に「今どれほど幸せを感じているか」を聞きました。加えて月の、①収入、②自分の趣味に費やした額、③生活費、④他人への贈答品の金額、⑤慈善活動や寄付に使った金額も聞きました。その結果、幸福度と強い関係があったのは、①や②ではなく、実際には④と⑤でした。ダン博士の論文は、この因果関係を調べた実験です。実験の参加者はある朝、現在の幸福度を尋ねられます。そして、「夕方までに使うように」と指示され、5～20ドルの入った封筒を渡されます。用途には条件があり、参加者の半

会長 瀬口 清文

分には、「自分のために使うように」と指示され、残りの半分には「誰かへのプレゼントや慈善寄付に使うように」と指示されます。

午後5時に再度、幸福度の調査を行います。さて、どれほど幸福度が高まったでしょうか。自由に使えるお小遣いをもらった前者のグループは、いかにも幸福度が高まりそうですが、実際には大きな変化はありませんでした。逆に後者のグループは軒並み幸福度が高まったのです。他人のためにお金を使うほうが、自分のためにお金を使うよりも幸福が増幅するのです。この論文は実感にも一致します。自分の欲しいものを手に入れたところで、純粋に楽しい気分でいられるのは案外短いものです。一方、「慈善団体に寄付した」「プレゼントをあげたら喜んでくれた」という社会的な充足感には長続きします。つまり、用途を工夫するだけで、幸福は簡単に手に入ります。この意味で、「幸せはお金で買える」と言えるでしょう。

ということで、皆様もうお分かりですね。自分の幸福度を上げるためにも、ロータリーへの年次寄付、特別寄付をよろしく願っています。

ニコニコボックス

●二宮吉男名誉会員 (2口)

4月10日 久方ぶり東RCの家庭集会に参加しました。菅さん、松本さん、服部さん、毛受さんと一緒に。名誉会員になり、初めて本当に楽しい時を過ごしました。90才を超えたボケが進んだジジー 4名の方に迷惑かけた

と思います。今後よろしくご指導ください。

●小嶋一範会員 (3口)

6か月の休会を経て、本日より復帰致します。今後とも、宜しくお願いいたします。

特 報 版

- 6月のプログラム 6月2日(木) ゲスト卓話 藤島美奈子様 MK ヴォレプランニング(株)
- 6月9日(木) ゲスト卓話 中島 知子様
- 6月23日(木) 夜の例会(柏木会員・熊野会員歓迎会) 坂元宏行ガバナー補佐訪問
- 5月26日(木)・6月16日(木) 休会

クラブ協議会

「1年を振り返って」

●SAA委員会 委員長 野田直宏

今年の出席率は、上期ホーム平均79.58%(修正平均96.8%)、下期ホーム平均82%(修正平均96.65%)であり、昨年平均を若干上回る出席率となりました。Zoomの活用など、コロナ禍に対応した出席率向上のための工夫をしていただいた成果と感じております。来期もよろしく願っています。

●広報・公共イメージ委員会 委員長 大西章泰

1. 週報について

週報は皆様の多大なるご協力のもと滞りなく発行できました。夜の例会の場面での楽しい雰囲気が伝わる写真を掲載できるよう、例会時はゲストが映えるようにカメラマンは毎回懸命に取り組みました。

ただ、週報の表紙の写真を一年間変えなかったことは心残りです。会長のご負担を考えて遠慮しすぎました。やはり年に二回～四回は変えた方がいいと思います。

2. ロータリーの友紹介について

ロータリーの友の記事の紹介はもう少し掘り下げたかったのですが、報告の機会が少なかったことを反省しています。自分自身が目を通すことで活動内容の理解が深まりました。漫画だけでなくクイズも楽しいです。

3. 家庭集会について

コロナ禍の影響で開催が危ぶまれた家庭集会でしたが瀬口年度の最終ギリギリとはいえ開催できたこと、皆様のご協力に改めて御礼申し上げます。

本委員会の目的でもあります、会員同士の絆を深めるための大変重要な行事だと思います。3月以降の開催になると人事異動もありメンバー確定に支障があるので、次年度はもう少し早い時期(秋頃)の開催が良いと考えます。

4. 広報活動について

東ロータリーとしての公共活動の機会が少なかった年度であったために、広報活動はできませんでした。力不足を反省しております。

至らぬ点は多々あったかと思いますが、委員長を含めメンバーの大半が初体験の中、なんとか一年やってこられたのは皆様の温かいご協力のおかげと心より感謝しております。ありがとうございました。

●親睦活動委員会 委員長 木許一夫

<上期実績>

親睦は、ロータリーにとっては、重要な項目の1つです。会員相互の親睦は勿論、会員の家族及び他クラブの会員と親交を深めるよう活動を計画しました。

残念ながら、計画していたクリスマス家族例会は、中止となりました。

夜の例会は、3回実施（うお清・ロジックバー・旧ブリッジ）しました。

東RC親睦ゴルフコンペは、11月7日（日）に開催し、優勝は三ヶ尻OB会員でした。

11月23日に開催の市内9RC親睦ゴルフ大会では由見会員が見事優勝しました。

<上期の活動を通して>

下期も引き続き、全力で親睦活動を行う計画でした。が、野外家族例会は、残念ながらなくなりました。

また、夜の例会は、感染拡大により、中止を余儀なくされ、6月が最後の予定です。

東RC親睦ゴルフコンペ2回目は、6月4日（土）竹中カントリークラブで開催します。

ニコボックスは、親睦委員が持ち回りで発表します。

残り少ない例会ですが、ニコボックスの協力をよろしくお願いします。

●会員増強・職業分類・会員選考委員会 委員長 由見真治朗
今年度の会員数は、皆さまのご協力のおかげで1名の純増となりました。

ただ、会員増強委員長として何も活動できず大変申し訳なく思っております。

奉仕計画の主旨では、ロータリークラブの運営や活性化のために会員増強は非常に重要だと述べておきながら、コロナ禍の中でどのように入会を勧めたら良いのか考えがまとまらず、職業分類の未充実分野から候補者リストを作成しながらも積極的に声掛けができませんでした。

次年度は一会員として会員増強に協力したいと思っております。

一年間どうもありがとうございました。

●職業奉仕委員会 委員長 園田浩二郎

職業奉仕委員会として年度最後の4月14日に活動させていただきました。訪問先の「コープおおいだ」さんには、お土産まで頂戴して恐縮しました。コロナ禍でも宅配事業を中心に大幅に業績を伸ばした理由、幅広い事業展開や積極的なSDGsとの向き合いなど、参考になる点が多々あったかと思えます。また、ウクライナ難民への食糧支援など素早いボランティア活動の実践も見習うべき活動だなと感じさせられました。実はその後、青木理事長と会食したんですが、「大勢の方に当社の活動をお伝えすることができるとても難かった」と逆にお礼を言われました。

次期職場集会は「是非TOSで」というご意見もあるようですので実現に向け努力したいと思っております。1年間、さしてお役に立てずすみませんでした。皆様のご協力に感謝申し上げます。

●青少年奉仕委員会 委員長 阿部克哉

今年度も大きな活動はなく予算はかなり余る見込みです。

インターアクト生たちと協同の活動も模索してきましたが、ロータリアン全員参加で取り組みのできるような企画

はできずに終わります。

ただ個別の活動については、牧師の清掃活動には前田幹事・安藤副幹事・木暮副委員長が参加していただいたりしました。

インターアクトクラブ毎月の例会へは委員会メンバーと前田幹事で毎回参加しました。

その例会企画では米山奨学生の洪さんや木暮副委員長の卓話、平岩会員による高校生たちへの自社案内を通じて社会人の心構えなどの話が実施できました。

毎回活動計画や報告をしてくれるのですがインターアクトの歌を覚えて大きな声で歌ったり例会内での企画を考えてもらったりと私がもう少し伝えることができればと反省しております。

卓話に関しては毎回当クラブ会員や外部の方に依頼を徹底できればよかったと思っています。

予算に関しては活動研修補助費と3年生の卒業記念品、クリスマス家族例会が中止になったためインターアクトクラブのクリスマス例会に切り替えた企画に使ったのみで、今年の7月に開催される年次大会はWeb開催のため登録費用は掛からないと思います。また台湾研修については今年度もコロナの影響で実施できなかったため当初通り予算の計上がなくて済みました。

実施行事

例会 7/15 9/29 10/27 11/17 12/20 1/28
4/26 7回（5月12日現在）

クリスマス会 12/20 例会後引き続き開催

3年生送別会（感謝状及び記念品贈呈）2/25

●国際奉仕・米山奨学生委員会 委員長 小嶋一範

<今期の実績>

<上期及び下期の活動を通して>

【国際奉仕】

・創立60周年に向けて、海外支援活動や姉妹クラブ又は友好クラブ締結等、心に残る記念となる事業を模索して参りましたが、コロナウイルス感染症の蔓延する中、行動制限に加え海外渡航も制限を受ける厳しい一年間でした。引き続きアンテナを張り巡らせ情報収集を行い、大分東ロータリークラブの気風にあった事業を展開していきたいと思えます。

【米山奨学生】

・4月より日本文理大学4年生、韓国人のホン・スンジンさんを迎入れ、クラブメンバーとの親睦を図ることができました。クラブ例会やロータリー例会にも積極的に出席し、日本と母国の懸け橋となる活動を実施して頂きました。

【普通寄付金】 2,000円×36名= 72,000円

【特別寄付金】 5,000円×36名=180,000円

10,000円×2名= 20,000円

<反省及び次年度に向けての引継ぎ>

・コロナ禍に於ける海外事業の在り方についての研究

●ロータリー財団委員会 委員長 佐藤純也

私自身、本日も欠席の様で幽霊会員のあり様でした。川崎社長様には、ご迷惑をお掛けて申し訳ありません。

今年度を振り返ってのR財団への寄付金の実績は、例年通りで、お一人、年次寄付金100 \$、ポリオ寄付金30 \$ 実施いたしました。

金額といたしましては、年次寄付金 100 \$×36名で410,400円 ポリオ寄付金は30 \$×36名で123,120円となります。

来期は、できるだけ出席率を上げるように努力します。

以上です。

家庭集会の開催報告

●家庭集会 4月26日 火曜日 18:00～ 場所 本母
参加者 城内和敏会員 木許一夫会員 柏木義孝会員
阿部克哉会員

家庭集会上記日程で開催しました。岩崎会員が急遽参加できなくなり4人での開催になりました。岩崎会員に代わって城内会員にリーダーをお願いしました。

冒頭城内会員に挨拶をいただき、今回の議題をはじめフリートークで会話が始まりました。

当然ロータリアンとして現在の世界経済情勢、ウクライナへのロシア侵攻等ばかりで今回はまじめな話のみで終わるのかなと思われましたが、岩崎会員の差し入れてくれたお酒が進むとともに他の話へ触れ始めてきました。また新入会員の柏木会員のロータリーに関する質問に他の会員たちが真摯に答えていました。ロータリー以外の事も柏木会員へレクチャーされておりとても参考になったのではないかと思います。これからが本領発揮と会話が盛り上がり、楽しい時が過ぎていって気が付けば3時間近くたっておりました。最後に城内会員から今回の総括をいただき、無事終わることができました。グループ皆様のご協力に感謝いたします。 幹事 阿部

●開催日：2022年5月10日

参加メンバー：前田修二、平岩禎一郎、佐藤佳郁、
安藤暢啓、高尾真之

話し合いテーマ：温故知新、新しい時代のロータリーを考えよう

【主な意見】

- ・時代が大きく変化していく中で、様々な価値観や意見を互いに語り合い、尊重し合う事はとても重要。その過程で新たな思いやりも発見され、奉仕の機会を見出せる事もあるだろう。例会をそのような機会にしていけたらいい。
- ・世代を超えて交流する機会は、新しい時代だからこそ重要な機会となる。年長者だけ、若人だけでは不十分で、世代が入り混じってこそ新しい時代には必要な機会。
- ・上記世代間交流という意味では、現状の課題として、若い方にもっと会員に加わっていただく必要がある。特に地元若手経営者がやや少ない印象が否めない。
- ・若手経営者を会員勧誘する為の方法として、現役会員は、交流のある若手経営者をベテラン会員に紹介してほしい。代わりに勧誘に出向く。若手経営者は忙しくて断られると先入観を持ってしまいがちだが、実際にお話すると、前向きに関心を持っていただける方も大勢いるはず。
- ・東ロータリーの雰囲気は非常にいい。温かく思いやりがある。新しい時代になってもこの雰囲気は守りぬき継続していく必要がある。この温かい雰囲気こそが思いやりのある奉仕活動を生み出す源泉となる。
- ・例会も良いが、本日のような少人数の交流会もできれば継続したい。深く会話ができてとても勉強になるし、顔を合わせてお酒を飲むのは、やはり楽しい。

大分臨海ロータリークラブ50周年記念講演

先日15日（日）にいいちこ文化会館音の泉ホールにてNPO法人JapanHeart代表吉岡秀人氏講演会がありました。その後の吉岡秀人氏とのディスカッションに大分商業高等学校インターアクトクラブの副会長2名が参加しました。

二人とも緊張した雰囲気でしたがしっかりと質問していてとてもよかったです。

終了後顧問の先生お二人と写真を撮りました。

青少年奉仕委員長
阿部克哉



ロータリーソング

我等の生業

我等の^{なりわい}生業 ^{なりわい}さまざまなれど

集いて^{むね}図る心は一つ

求むるところは ^{やわらぎ むつみ}平和親睦

力むるところは 向上奉仕

おお ロータリアン我等の集い

国際ロータリー第2720地区 大分東ロータリークラブ

創 立 昭和38年3月6日

例 会 日 毎週木曜日・12時30分

例 会 場 トキハ会館4F「つばきの間」

会 長 瀬口 清文

幹 事 前田 修二

事 務 所 〒870-0021

大分市府内町1-2-15

(トキハ会館4F)

TEL532-0611 FAX532-8386

ホームページ <http://www.higashi-rc.com/>

メールアドレス oitahigashirc@mist.ocn.ne.jp